

医科研究会

# 今までの緩和ケアと 新しい緩和ケア

~緩和ケアは終末期医療か?~



佐藤 英俊 先生

6月27日(水)佐賀市アバンセにて、医科研究会「今までの緩和ケアと新しい緩和ケア」を開催いたしました。講師に佐藤英俊先生(佐賀大学医学部附属病院地域包括緩和ケア科診療教授)をお招きし、19医療機関より44名の参加がありました。

以下、参加者からの報告です。

緩和ケアは終末期ケアではなく、受診した初期の治療段階から開始され、身体的・精神的な苦痛を和らげるための医療である。

緩和ケアは、役割多数で亡くなる患者数は約10%で、緩和ケアランキン

グでは、日本は世界の23位と後進国とのことだ。

緩和ケアは、役割多数ががんで死亡している。

ホスピスや緩和ケア病棟で亡くなる患者数は約10%で、緩和ケアランキン

グでは、日本は世界の23位と後進国とのことだ。